

まちづくり

提案・意見

在来線の高速化へ向けた陳情を

我らが伊勢市のインフラを取り巻く環境も北陸新幹線延伸やリニア新幹線延伸など、周辺府県は鉄道インフラが進んでいるものの在来線の高速化はしばらく図られていません。

名古屋から1時間半ほどかかるため観光客からは少し遠いと思われるかもしれません。

JR在来線や私鉄の在来線も時速120km程度とこれ以上の速度アップ行われていません。

法律上は160kmまでの速度UPは行えるので、さらなる観光客誘致および周辺住民の利便性の向上も含めて行政機関に働きかけていただきたく思います。

理想は周辺大都市から片道1時間で来れば観光客もかなり来訪していただけるのではと考えます。

回答

この度は、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

JR伊勢市駅及び近鉄宇治山田駅に確認しましたところ、線路の規格や運行する車両により制限速度が設けられております。

ご提案いただきました制限速度アップにつきましては、上記の理由により各社とも難しい状況となっております。

今後も観光客が伊勢市に来訪しやすいように公共交通の利便性の向上について要望を行ってまいりますので、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

交通政策課（2017年1月回答）

まちづくり

提案・意見

美化条例の制定について

東京都では新規に電柱などの設備を道路へ建設するのは美観上許可しない条例を定める動きにあるようです。

私たち伊勢市も、これにあやかる訳ではないですが、市街地や、それに準じるような人口密集地は蜘蛛の巣のようになっていて上空を見るのが嫌になるほど、また自動車による通行もこの影響ですれ違いがしにくくなっています。

特に狭い道路においては、それが顕著です。

これからの時代を考えたときに、大地震発生による電柱の倒壊、それによる道路交通の遮断、民家への建物被害といった防災上の観点、街の美化あらゆることを考慮して、条例の制定を行ってはいかがでしょうか

自然と強調する神宮を有する伊勢市のイメージアップにもなると思うのですが

回答

貴重なご意見ありがとうございます。

伊勢市景観計画では景観上重要な公共施設について、良好な景観形成を図るため12箇所の路線を景観重要道路に位置づけています。その中で、無電柱化等されていない8箇所の路線においては整備に関する方針として、歩道及び車道から周辺への眺望を妨げないように、無電柱化等の検討を進めるとしております。

現在、伊勢らしいまちづくりを景観の観点から進めており、美化条例については考えておりません。

(都市計画課)

市道の無電柱化につきましては、現在、伊勢市駅前の外宮参道と交差する市道本町宮川堤線の工事を行っております。

(基盤整備課)

新たに電柱が設置される場合は、通行上、防災上の観点から、原則、道路外に設置していただくよう指導を行っております。

また、既存の電柱について道路外へ移設していただくことは、費用負担の問題や、移設先の土地所有者様のご理解が必要となることから、今後の課題と考えております。

(維持課)

担当課

都市計画課、基盤整備課、維持課 (2017年1月回答)

まちづくり

提案・意見

駅前 アーケード化について

久しぶりに伊勢市駅前に自らの足で立ち、外宮前の街並みの整備の凄さに感動しました。

1個人として、観光客目線で見ればもう一度訪れてもと思えるような景観でした。

ただ、雨が降れば、いくら外宮前といえど、観光客にとっては辛いと感じました。上空から雨を防ぐ術がないからです。

他人の傘からの雨のしずくが自分にかかるというのは嫌な思いです。

そこで、今の駅前から外宮前までの参道の部分だけでも良いので、景観を阻害せず傘なしで参宮できるような環境ができれば観光客にとってインパクトが他の地域に比べて魅力が大きいかなと思います。

もちろん、費用も掛かりますが、更なる観光客誘致の観点からも、雨にも強い観光地目指して取り組んでいただければと感じます。

回答

現在、伊勢市駅前から外宮へ至る参道は電線の地中化などの道路整備により、駅前から外宮の森を見通せる素晴らしい景観となっております。ご指摘のとおり、参道には雨よけがないことから雨天時の歩行には快適性に欠けますが、現在の景観を損なわずに雨を避けられる施設を設置するのは現状では非常に困難であると考えられることから、雨天時にはその情緒を感じながら参道を楽しんでもらえるような仕掛けができないか関係者とともに検討してまいりたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

担当課

商工労政課（2017年1月回答）

まちづくり

提案・意見

教えてください

伊勢市駅前、ホテル、三交ホテル、に補助金出していると、人に聞いたのですが、いくら出しているのですか、そのお金は、返金されるのですか、

回答

平素は、市行政にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

市では、土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新、市街地の環境改善等を目的に、伊勢市市街地再開発事業等補助金交付要綱に基づき、民間事業者が施行する市街地再開発事業等に対し、建築工事費の一部を補助金により支援し、事業の促進を図ることで、中心市街地のにぎわい創出と活性化に繋げていきたいと考えております。

市街地再開発事業等（ホテル整備）の補助金につきましては、伊勢外宮参道伊勢神泉に2億2,800万円の補助金（平成25年度）を交付しました。また、三交イン伊勢市駅前には、約1億3,000万円の交付を見込んでおりますが、現在審査中であることから、金額は決定しておりません。

なお、補助金については、民間事業者からの返金はありません。

今後も、伊勢市のまちづくりにご理解ご協力賜りますようお願いいたします。

担当課

都市計画課（2017年1月回答）

道路

提案・意見

カーブミラーについて

市内船江4丁目にある市道のカーブミラーが少し位置について私的に向いて設置されているではないか？

本来なら公道に向けてのミラーであるはずが個人の方へミラーが有り交通安全の為とは言う物の個人宅に便利なミラーは市道の為に成っておらず、市民に対しての不平等に違いない。

回答

平素は、市行政にご理解ご協力いただき、また貴重なご意見ありがとうございました。

ご指摘いただいたカーブミラーについて調査をしましたところ、ミラーが風等の影響を受け、微妙に角度がずれたと考えられ、設置当初より変化していることが確認できました。このカーブミラーは市の所有物ではなく、交通安全協会の所有物でありましたので、協会へ早急に角度調整のお願いをしました。よろしく申し上げます。

担当課

維持課、交通政策課（2017年1月回答）

福祉

提案・意見

小俣の子育て支援センターについて

2007年6月受付・回答のものに既にありますが、小俣の子育て支援センターの環境に疑問があります。

支援センターに来られる方は子育てに不安や心配を抱えている少なくないと思います。ですが、明らかに職員の方は新規の方よりも通い慣れている方と親密にされています。

そうでない場合は机に向かった状態で、子供たちのいるフロアに背を向けています。

親子にまんべんなく声掛けをする職員は一人しかいないように思います。

世間話もデスクワークも重要な職務であることは分かりますが、これでは不快感や不信感を拭いられません。

雰囲気作りにもっと気を配った方が良いように感じます。

正直な感想として職員の方達と信頼関係が築きにくく、子供と通いにくいです。

せっかくある施設なのに残念です。

回答

この度は、ご不快な思いをおかけして、誠に申し訳ございません。

小俣子育て支援センターでは、利用者の方へのお声掛けや利用しやすい雰囲気づくりに努めておりますが、職員は子育て支援センター業務とともに、一時保育および事務業務を行っている状況でございます。そのため、職員全員が「あそびの広場」に従事できないことがあります。

初めて利用される方や、あまり利用されたことのない方が不安を感じずに利用できる子育て支援センターとなるよう、担当業務に係らず、職員一同、いっそうの心配りをしてまいりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

貴重なご意見ありがとうございました。

担当課

こども課（2017年1月回答）

その他

提案・意見

伊勢病院について

12月2日回答の伊勢病院についての内容を読ませていただいて思ったのですが、夜間に担当の先生がいないからと津の眼科を紹介されたそうですが、免許のない人や運転に自信のない人はどうしたらいいのでしょうか？

タクシーで津まで行くのでしょうか？

これから高齢化で高齢者の一人暮らしも増えると思います。緊急時は常に伊勢で診察していただけるようにしてほしいです。

あと夜中でもどこかのタクシー会社は営業しているように当番制にしていただけると、高齢者や運転に自信のない人が危ない運転で病院に向かわなくてもいいと思います。

検討していただけると嬉しいです。

回答

伊勢の医療体制については、一次救急と二次救急があります。一次救急とは救急車を呼ぶほどではない比較的軽症の患者さんを対象として伊勢市休日・夜間応急診療所での対応となり、二次救急については、主に入院治療を必要とする重症患者さんを対象として伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院での対応となります。

診療科は、一次救急については内科・小児科、二次救急については、伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院当番病院で行っている診療科となります。

このように緊急時の医療体制は確保されておりますが、現在、市立伊勢総合病院については救急当番日全ての診療科に対応できていないため、対応できていない診療科については他病院との連携を図るとともに受け入れ体制の充実に努めてまいります。

(健康課、伊勢総合病院総務課)

タクシーの夜間営業について回答いたします。

三重県タクシー協会伊勢支部に確認をしましたところ、現在、ご提案いただきました24時間対応できるような各社当番制でのタクシー営業は行っていないとの回答がございました。

また、今後も予定がないとのことですので、何卒ご理解をお願いいたします。

市内に9社のタクシー会社がありますが、対応できる時間帯についても、各社で異なっておりますので、夜間利用の際には、恐れ入りますが各社にお尋ねをお願いいたします。

(交通政策課)

担当課

健康課、伊勢総合病院総務課、交通政策課 (2017年1月回答)

その他

提案・意見

伊勢市議会の業務改善提案

以前、市長との地域懇談会で指摘させて頂いた、伊勢市議会の各委員会や会議での、平成28年度の資料及び会議録がwebサイトに公開されていない問題です。

会議は、毎日行われているわけではありません。

会議に用いる資料は、パソコンにて作成しているはずですが。

どうして、webサイトに資料及び会議録の公開が遅いのでしょうか？

市民からすれば、資料がwebサイトに公開されて、情報が定期的に更新されているかどうか、伊勢市議会事務局の仕事ぶりを図る手段です。

人員不足により、情報公開が遅れているのなら、人員の補充を。

システムとして、資料公開が遅れているのなら、システム更新を。

会議録作成に手間をかけているのなら、マイクから音声を文字起こしをして、スマートフォンやPCなどの端末に、リアルタイム表示させるアプリケーションがあります。

テキスト変換率は、100%とは行かないまでも、9割近く変換できるようです。

価格も10万円程度と聞きました。

業務改善に向けた予算措置を、お願いします。

回答

ご指摘をいただきました市議会の会議録等につきましては、ホームページへの掲載が遅れており、大変申し訳ございません。

会議録の作成につきましては、現在、議会事務局において、音声データを文字に変換する音声翻訳システムを活用しながら、各職員が分担して当たっているとありますが、他の業務を優先してしまい、会議録作成に遅れが生じており、ご心配をおかけしております。

また、人員につきましては、嘱託職員の補充を行うとともに、他の業務も含めて業務内容の見直しを行っているところでございます。

今後は、会議録の作成状況の進捗管理の強化を図り、迅速にホームページに会議録等の掲載ができるよう、努めてまいりますので、ご理解をいただきますようよろしくお願いいたします。

担当課

議会事務局（2017年1月回答）

その他

提案・意見

予算書をExcelファイルとして公開して欲しい。

伊勢市では、予算書をpdfファイルとして公開していますが、多くの市民や団体が、伊勢市の内情を分析・評価できるようにするために、ExcelファイルやCSVファイルとして、公開していただけないでしょうか？

これは、市役所の業務効率改善に寄与すると共に、ICTの利活用及びオープンデータの利活用の一つとなります。

回答

予算書のExcelファイルやCSVファイルとしての公開につきましては、平成29年度予算書の公表に合わせて、「費目別」及び「事業別」のデータをホームページへ掲載をさせていただきます。また、決算につきましても、平成28年度決算書の公表に合わせて、「費目別」及び「事業別」データを掲載させていただきます。

この度は、貴重な提案をいただき、誠にありがとうございました。今後とも市行政の運営に、ご理解、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

担当課

財政課（2017年1月回答）

その他

提案・意見

伊勢市にある各高校との関係について

伊勢市の行政及び議会は、伊勢市にある各高校とどのような連絡や協力体制を築いているのか教えてください。

災害時には、高校が避難場所や物資の保管場所になることも想定されます。

また、高校在学中に18歳になる生徒は、首長選挙・市議会議員選挙の有権者となります。

伊勢市の社会問題となっている人口減少の解決の糸口は、定住者を増やすことです。

それには、高校を卒業すると市外や県外の教育機関や企業に進学・就職する生徒が、再度、伊勢市に戻って定住してくれるかだと考えます。

定住を考えるには、その土地のことを知る必要があります。

高校生の視点で、伊勢市の施設の運用について意見を求める。

伊勢市が抱える課題について、高校生の視点を取り入れる。

このような取り組みを、市役所及び市議会で作って欲しいと思います。

今後、高校の教育課程において、公共という科目が整備されます。

公共教育では、高校所在地自治体との連携が求められます。

公共教育に対応するために、今から準備をしてください。

また今年から、18歳を民法上成年とする審議が始まります。

18歳成人になっても、対応できるように準備をしてください。

回答

現在、市では定住人口の増加を目的とし、地方創生の取組を進めています。取組にあたっては、「伊勢市まち・ひと・しごと創生会議」を設置し、地域の様々な方々から地域あるいはそれぞれの分野における現状及び課題等についてご意見を伺いながら進めています。本組織においては、市内の高校の校長先生を委員に委嘱しており、高校生の進路動向及び学校における取組等について、ご意見を頂戴しています。

高校生からの意見については、各種調査等を実施する際、各高校にご協力いただきアンケート調査等を実施しています。

高校生と連携した取組については、例えば、伊勢志摩サミットの開催時に、伊勢工業高校の機械科、電気科、建築科の3科共同によりカウントダウンボードの製作を行っていただいたほか、明野高校には市民参加型の植栽イベントを実施するために花の苗を育てていただきました。他にも、宇治山田高校及び皇學館高校の写真部には外宮前に設置したサミット仕様の行灯の製作にご協力いただくなど、様々なスタイルでまちづくりに関わっていただいています。

ご指摘いただきました公共教育につきましては、各高等学校が授業内容を決定するものであると理解しておりますが、各学校からのご依頼がありましたら行政として協力できることについては、ご協力させていただきたいと考えております。

また、成人年齢の引き上げにつきましては、国の動向を注視したいと考えております。

(企画調整課)

高校生などの次世代を担う若い世代との関係を築いていくことは、伊勢市議会としましても、重要な課題の1つであると捉えております。

現在、若い世代に地域行政等への関心を持ってもらうため、議会のあり方調査特別委員会広聴検討分科会におきまして、議会の広報広聴機能の充実を図る1つの方法として、市内の高校生や大学生との意見交換会が、開催できないかを協議しているところでございます。

今後は、この意見交換会をきっかけとして、若い世代との繋がりが築けるよう、努めてまいりますので、ご理解をたまわりますようお願いいたします。

(議会事務局)

担当課

企画調整課、議会事務局 (2017年1月回答)